

## 第5学年 国語科学習指導案

平成26年6月13日

授業者 T1

T2

1. 単元名 新聞記事を読み比べよう

2. 単元の目標

- 目的に応じて、文章を読み比べて、書き手の意図を読み取る。
- 編集の仕方や記事の書き方に注意して新聞を読む。

3. 学習の基盤

○本単元は、学習指導要領C読むこと(1)ーイ「目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。」を受けた内容である。同じ内容について書かれた新聞記事を読み比べて、書き手の意図を読み取る学習を行う。ねらいが違くと、同じ事柄を題材に書いた文章でも、論の展開や使用する写真は異なり、結論も変わってくる。文章を読む時は、この点を意識する必要がある。本教材では、編集の仕方に注意しながら内容を的確に把握する力、自分の考えを明確にしながら読む力などを養うことができる考えた。

比べて読むことは、情報を効果的に活用し、読み取りに客観性を与えることにもつながる。教科書では、アユの遡上を取材した二つの新聞記事を取り上げてある。見出しやリード、記事の内容や写真等それぞれに意図をもって描かれており、比べて読みやすい記事となっている。そのため、比べ読みの際は、教科書の記事をそのまま使用したい。

○4年生では「広告と説明書を読み比べよう」で広告のちらしと取扱い説明書を読み比べ、目的による表し方の違いや述べ方の工夫を学習した。本教材では二つの新聞記事を読み比べ、意図に応じた記事の内容や掲載する写真の違いを学習する。

終末では、新聞記事に効果的な見出しを考える活動を行う。学校司書と連携をして、5月から児童が関心をもちそうな新聞記事の切り抜きを準備してきた。その中から自分で読みたい記事を選び、その記事の見出しを考えさせたい。その際、記事の本文や写真などから根拠をもって考えるようにさせたい。早く済んだ児童には、複数の記事を選んで取り組むよう促す。

本時では、児童が学習意欲や目的をもって学習に取り組めるように、まず導入場面で、新聞記事に見出しを考える活動を指導者が実際にやってみせる。そして、なぜその見出しにしたか根拠を明確に示していくことで、見出しを考えるためには、記事をどのように読みとっていけばよいか気付かせたい。その気づきをもとに、次時からの学習課題をもたせ、見通しをもって学習に取り組ませていきたい。

また、地元紙の日日新聞の記者の方をゲストティーチャーに迎え、実際に記事を書く際、意識していることや見出しにどのような工夫をしておられるのか等、お話をさせていただく。新聞の構成に対する理解を深めるとともに、これからの学習の関心を高めることができると考える。

本時で使用する記事も、あらかじめ、学校司書の方に、切り抜いておいてもらった記事の中から、あまり長くないもので、児童の興味のある題材について書かれた記事を選んで使用したい。必要に応じて、

漢字に振り仮名を振っておくなどの配慮もしておきたい。

#### 4. 指導計画（全6時間・・・本時1／6）

次	時	ねらいと学習活動	おもな評価規準
1	1	<b>新聞の構成を理解し、今後の学習の見通しをもつ。</b> ・実際にモデルとなる活動をやってみせて、児童に学習の見通しをもたせる。 ・記者の方の話を聞き、新聞の役割や構成への理解を深める。 ・学習計画をたてる。	ねらいを達成するためにどんな学習をしていけばよいか理解できる。（話すこと・聞くこと1エ）
	2	二つの新聞記事を様々な観点から読み比べる。 <b>内容の共通点をとらえる。</b> ・記事の内容を読み、二つの記事の共通点を見つける。	二つの新聞記事を読み比べ、共通点を読みとることができる。（読むこと1ウ）
2	3	<b>見出し、リード、本文を比較し、書き手のメッセージを読みとる。</b>	二つの新聞記事について相違点をとらえ、書き手のメッセージを読みとることができる。（読むこと1ウ）
	4	<b>写真を読み解き、効果を考える。</b>	二つの記事の写真を読み解き、それぞれの効果を捉える事ができる。（読むこと1ウ）
3	5	<b>記事と写真に見合った見出しを書く。</b> ・複数の切り抜きの中から自分で記事を選び、見出しを考える。	新聞記事の内容を読みとり、効果的な見出しを書くことができる。（読むこと2ウ書くこと1オ）
	6	<b>学習のまとめをする。</b> ・考えた見出しを、根拠を明らかにしながら発表する。 ・互いの見出しを評価する。	友達の考えた見出しを聞きあい、良さをみつけることができる。（書くこと1カ）

#### 5. 本時の学習

(1) ねらい 新聞の構成を理解し、今後の学習の見通しをもつ

(2) 学習の流れ（1／6）

時間	学習活動	教師の支援と評価
5	○新聞記事について知っていることを発表しあう。 ・いろいろな出来事がわかる。 ・写真が載っている。 ・字が小さい ・見出しがある。	・新聞の実物を用意しておく。

20	○新聞の特徴や編集の仕方、記事の書き方などを理解する。 新聞の構成や役割、記事の書き方、写真の役割、記者の思いなどについて日日新聞の記者の方から話を聞く。	・ 日日新聞の記者の方から話を聞く ☆新聞の構成を理解する。 (話すこと・聞くこと1エ)
15	○教材のねらいを確かめ、終末の活動に向けて意欲をもつ。 ・ 新聞記事を読む ・ T2との役割演技で本学習の終末のモデルを示す。 ・ 新聞記事に見出しをつける。 ・ その根拠を記事の中から説明する。	・ 児童が読みやすく関心をもって取り組めるように地元、五十猛町の記事を準備する。 ・ 内容を読み取りやすいように難しい漢字にはふり仮名を振っておく。 ・ 学習計画を立てる際の手がかりになるように新聞を拡大しておく。 ・ 新聞の記述内容を確認しながら学習を進める。
10	○今後の学習の見通しをもつ 記事にふさわしい見出しをつけるためには、記事のどこに着目すればよいかを確認する。	☆本単元の学習のねらいと今後の学習内容を理解し、意欲的に取り組もうとしている。 (関心・意欲・態度)

### (3) 研究の視点

終末のモデルを教師がやってみせたことは、学習に見通しをもたせ、学習に意欲的に取り組もうとする姿勢につながったか。

### (4) 本時の評価規準

	充分満足できる	おおむね満足できる	支援を必要とする児童への指導の手立て
国語への関心・意欲・態度	終末の学習活動に向けて学習することを具体的に発言している。	終末の学習活動に向けて学習することを発言している。	終末のモデルを見ながら、見出しの根拠となったところに着目させる。